

教育カウンセリング講座



☀️朝がづらい子・・・不登校を考える

子どもたちにとって朝は待ち遠しくありたいと思いますが、学校へ行き渋る、行きたがらない子どもが全国的に増えています。

子ども本人はもとより、そうした子どもに関わる保護者、学校関係者の皆さんも特効薬的な改善策はなく苦心しています。不登校について、その原因を追究したり、登校を強く促したりする従来の見方や考え方、取り組み方など変化してきました。その子どもにあったより良い関わり方をするために、先ずはその子を取り巻く状況を深くつぶさに見つめることが大切ではないでしょうか。

小中学生を取り巻く各方面で活動している講師陣に、現状の感想や思いをお聞きし、その後、グループ協議で率直自由に意見を出していただきながら、いくつかの課題を浮き彫りにして考えてみたいと思います。

令和7年1月29日、2月5日、2月12日
毎週水曜日全3回 午後7時から午後9時まで

講師 芦澤 義子さん
伊藤 世津子さん
井出 由美子さん
水村 裕子さん
進行 梶原 俊宏さん
対象 市内在住または在勤、在学の
18歳以上の方
全3回出席できる方
定員 30人(先着順)
受講料 1,000円
当日受付にてお支払いください。

会場 大富士交流センター
(万野原新田4 1 3 6 - 3)
持ち物 筆記用具
申込み 下記二次元コードを読み取り
申し込みください。
1月13日(月・祝)から
1月24日(金)まで



講座の内容概要

1月29日

- 1 開講式
- 2 リレーションづくり（構成的グループエンカウンター）
- 3 講話 「学校での教育相談を通して」
学校教育現場での相談の実際と私の考える課題など
- 4 グループ協議

2月5日

- 1 リレーションづくり
- 2 講話 「不登校と青少年相談センターの今」
卒業後の進路など
- 3 グループ協議

2月12日

- 1 リレーションづくり
- 2 講話 「こどもにとって身近で大事な社会」
- 3 グループ協議
- 4 閉講式

困っていることのひとつに



家庭への電話、訪問がうまくいかないのでもいつも気になっている。何をしてあげたらいいのかわからない。

あちこち相談にも行った、講演も聞いた、施設も回ってみたが本人には合わなかった。親もメンタルが強くないと疲れて自虐してしまう。

自主性を育てるために本人に任せてきたが、毎日ただゲームとユーチューブで・・・今のままで良いのか。

家の中ばかりで、健康と勉強が気になる。

こどものつらい気持ちを理解してあげたいが、なかなかできない。

親同士の辛さ、情報交換が気楽にできる場があると良い。

成功例を聞いても、ネットで見ても、状況が異なるうちの子には、あまり参考にならなかった。